

**ローム・アンド・ハース電子材料株式会社**  
**第 38 回国際電子回路産業展（JPCA Show 2008）に出展し、**  
**プリント回路基板製造向け製品を展示紹介**

[東京] — 2008 年 6 月 12 日 — ローム・アンド・ハース電子材料株式会社（本社：東京都千代田区、社長：渡邊憲也）は、第 38 回国際電子回路産業展（JPCA Show 2008、同社ブース：5G-13）に出展し、プリント回路基板製造向けインクジェットシステム用機能性インク「LithoJet™（リソジェット）」、高性能無電解銅めっきプロセス製品「CIRCUPOSIT™（サーキュポジット）」をはじめとするプリント回路基板製造向け製品を展示紹介します。

現在、多くの電気・電子機器には様々な電子デバイスおよび、これらを搭載する電子回路が使用されておりますが、こうした電子機器の高性能化や多機能化に伴い、材料および製造技術やプロセスにおいても、さらなる技術革新が求められています。とりわけ日本市場においては、高付加価値分野や技術的難易度の高い分野へのシフトが進んでおり、各種機能性表面処理薬品に対しても、さらなる高性能化、高機能化が要求されています。こうした市場環境の中、同社のサーキット・ボード・テクノロジー事業部では、現在および将来のプリント配線板製造および回路設計に不可欠な機能めっき技術を軸に、各種機能性表面処理や関連の機能プロセス薬品を提供。このたびの JPCA ショーでも、数多くの製品・技術を紹介いたします。主な展示製品は以下の通り。

**インクジェットシステム用機能性インク「LithoJet™（リソジェット）」**

従来のフォトリソグラフィ材料に代わる環境調和型の機能性材料。電子部品／デバイス設計に求められる高解像性と優れた印刷イメージを実現。インクジェットシステムとの融合により、従来のフォトリソグラフィ工程が不要になり、設計から製造までの工程を大幅に短縮することが可能。また、優れた耐酸性、密着性を有し、従来のエッチングプロセスへの適応性も併せ持ちます。これにより高解像性と優れたパターン形状形成の両立を実現。プリント配線板製造プロセスに加え、各種電子デバイス製造への応用が可能。

**高性能無電解銅めっきプロセス製品「CIRCUPOSIT™（サーキュポジット）」**

セミアディティブ工法（樹脂の表面に金属薄膜形成後、フォトレジストなどにより回路パターンを形成、めっき法により配線部のみに回路形成を行う高密度配線設計に適した工法の一つ）に対応し、低粗化表面に対する高い密着性により、ファインパターン化および高信号化、高周波化への対応が可能。また、絶縁樹脂上およびレーザービア内への均一めっき析出性や、ビア底部における銅—銅接合信頼性を確保。

ローム・アンド・ハース社は、2006 年にビジネス戦略として「ビジョン 2010」を発表。これは同社の業績、ポートフォリオ、事業環境そしてビジネスチャンスに関する詳細な分析結果に基づき、有機的成長に焦点を当て、更なる成長を目指すものであります。同社日本法人の渡邊社長は「日本を含むアジア太平洋地域においては、『研究・開発機能の強化』『成長分野への注力』『新規分野への展開』といった活動を柱に、2006 年度の 16 億ドルから、2010 年の電子材料部門の売り上げ倍増に寄与することを目指しております。」としており、加えて「当社は、長年の経験と知見を生かし、継続的な技術改良・開発を推進すると共に、将来の電子回路設計や次世代デバイス設計に求められる、優れた技術・製品の開発を行ってまいります。」と話しております。

# # #

**ローム・アンド・ハース・エレクトロニック・マテリアルズ社**

ローム・アンド・ハース・エレクトロニック・マテリアルズ社（日本法人：ローム・アンド・ハース電子材料株式会社、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：渡邊憲也）は、電子部品・デバイスへの革新的な材料技術のソリューションおよびプロセスを開発・提供しています。その製品と技術は、プリント回路基板、半導体製造および先端パッケージング産業を中心に、世界中の電子産業に貢献しています。

**ローム・アンド・ハース社／サーキット・ボード・テクノロジー事業部**

サーキット・ボード・テクノロジー事業部は、現在のプリント配線板製造および回路設計に欠くことのできない、機能めつき技術を軸に、各種機能性表面処理およびそれに関連する機能プロセス薬品を提供しています。

**ローム・アンド・ハース社 (NYSE: ROH)**

1909年に創立されたローム・アンド・ハース社は、米国フィラデルフィアに本社を置く特殊素材メーカーです。創立以来約1世紀の経験から培った技術力でお客様の次世代を狙う製品、サービスおよびソリューションを提供しています。当社の技術は、建築、エレクトロニクス、産業プロセス、パッケージング、輸送、日用品、水、食料品など、幅広い分野で世界中の人々の生活に役に立てられています。2007年には約89億ドルの売り上げを計上しています。詳しくは当社のホームページ [www.rohmhaas.co.jp](http://www.rohmhaas.co.jp) をご覧ください。

**本件に関するお問い合わせ先****ローム・アンド・ハース社**

ローム・アンド・ハース電子材料(株)  
内田 健一 (Kenichi Uchida)  
TEL: 03-5213-2910 (EXT 4353)  
FAX: 03-5213-2911  
E-MAIL: KUchida@rohmhaas.com

**ローム・アンド・ハース社・広報代行**

(株)東京 PR  
杉野・福島・鎌田  
TEL: 03-3273-2731  
FAX: 03-3273-2734  
E-mail: [pressinquiry@tokyopr.co.jp](mailto:pressinquiry@tokyopr.co.jp)